

令和7年度成年後見制度 個別の無料法律相談会



成年後見制度について知りたい方、高齢や障がいなどにより生活や財産のことで不安をお持ちの方、後見人として活動している方などの制度の相談に専門的に応じるため、専門職による無料の個別相談会を実施します。相談内容の秘密は守りますので安心してお気軽にご相談ください。

対象者

袖ケ浦市にお住まいの方

ご家族や後見人の方、福祉従事者など関係機関の方からの相談もお受けします。

日程

偶数月の第1水曜日 ①午後2時00分～2時50分(50分)

②午後3時00分～3時50分(50分)

第1回	令和7年4月2日(水)	第4回	令和7年10月1日(水)
第2回	令和7年6月4日(水)	第5回	令和7年12月3日(水)
第3回	令和7年8月6日(水)	第6回	令和8年2月4日(水)

会場

袖ケ浦市社会福祉センター

定員

各回2組まで

相談料

無料

相談員

司法書士 (公益社団法人 成年後見センター
リーガルサポート 所属)

申込方法

・事前予約制(前日午後3時締切)

***開催日1か月前の初日から受付開始します。**

ただし、土日祝日の場合は翌日(平日)から受付となります。

・定員になり次第締め切らせていただきます。

・電話またはFAX、E-mailでお申込みください。

(住所・氏名・電話番号等を明記)

※原則、相談は1ケース、年間2回まででお願いします。

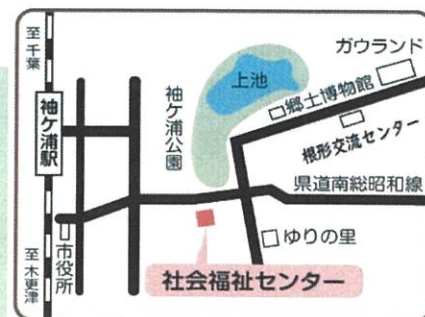
お問い合わせ・お申込み

社会福祉法人 袖ケ浦市社会福祉協議会(袖ケ浦市社会福祉センター)

〒299-0256 千葉県袖ケ浦市飯富1604

電話 0438-63-3891 FAX 0438-63-8777

E-mail : ks@sodegaura-shakyo.jp



令和7年度 成年後見制度 個別の無料法律相談会

成年後見制度に関する
色々なお悩みについて
専門の相談員が
お話を伺います。



成年後見制度ってなに？
私は利用できるの？

無駄な通信販売や訪問販売の
被害にあっていないかしら…

認知症で介護サービスの
契約や手続きが難しい…

身寄りがないので
将来のことが不安…

障がいや認知症のある家族がい
るけど自分が動けなくなったらと
思うと心配…

後見人をたてたら？
と言われたがどうしたら良
いかわからない

物忘れでお金の管理が心配…
遺言や相続のことが心配…

後見人として活動しているが困
りごと、悩みごとがあるので相
談にのってほしい！



参加申込書

お名前			電話番号	
住所				
希望日	月	日 (水)	☐	①午後2時00分から2時50分
希望時間	希望時間どちらかにチェックしてください。		☐	②午後3時00分から3時50分
相談内容				

袖ヶ浦市社会福祉協議会

TEL 0438-63-3891

FAX 0438-63-8777

@241201

第44期第1回市民三学大学講座

(青少年健全育成推進大会記念講演) 第288回



いまどきの子どもたちの心理 ～対人関係を変える心の技法～



■ 講 師
■ 日 時

名越 康文氏 (精神科医)

令和7年7月5日(土)

14時30分～16時00分

■ 会 場

袖ヶ浦市民会館 大ホール

入場無料



※会場受講の方は申し込み不要
オンライン配信のみ事前申し
込みが必要

■講師プロフィール

1960年奈良県生まれ。精神科医。相愛大学、高野山大学、龍谷大学客員教授。専門は思春期精神医学、精神療法。近畿大学医学部卒業後、大阪精神医療センターにて、精神科救急病棟の設立。責任者を経て、99年に同病院を退職。引き続き臨床に携わる一方で、テレビ・ラジオでコメンテーター、映画評論、漫画分析など、さまざまな分野で活躍中。著書に『「鬼滅の刃」が教えてくれた 傷ついたまま生きるためのヒント』(宝島社)、『SOLOTIME～ひとりぼっちこそが最強の生存戦略である』(夜間飛行)、『【新版】自分を支える心の技法』(小学館新書)ほか多数。『THE BARDIC BAND』として音楽活動にも精力的に活動。「名越康文シークレットトーク YouTube分室」も好評。チャンネル登録18.4万人。夜間飛行よりメールマガジン「生きるための対話」。「名越式性格分類ゼミONLINE」配信中

▶ 手話通訳あり
▶ 保育あり



■ 保育申込は6月27日(金)までに生涯学習課へお申し込みください。
■ 1人あたり利用料: 200円。対象: 2歳以上の未就学児

■青少年健全育成推進大会スケジュール

13:00 開 会
袖ヶ浦市青少年育成者感謝状贈呈 他
14:20 市民三学大学講座受付
14:30 記念講演 (第1回市民三学大学講座)
16:00 閉 会



オンライン(YouTube)で
配信します。

配信期間 7月23日(水)～30日(水)
申込期限 7月18日(金)
申込方法 1. 申込フォーム(二次元コード参照)
2. 生涯学習課へ電話又はFAX



※通信にかかる費用は各自のご負担になります <https://logofom.jp/form/TSXa/1004241>

問い合わせ・申し込み

袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課
TEL:0438-62-3743 FAX:0438-63-9680

子育て世代の 学びを



「保育」で バックアップ！

受講生大募集！

保育ボランティア養成講座

保育ボランティアとは！？

子どもが幼くても学びたい、
幼いからこそ学びたいと願っている
保護者の皆様を、
保育の形で支えるグループです。

また、核家族化・少子化傾向の中で、
薄れた兄弟・異年齢間の交流を
幼児に体験させることにより、
仲間と遊ぶ楽しさと
家庭と違った成長の場を
提供することを目的に活動しています。

養成講座で保育のノウハウについて学び、
ボランティアの一員として活動しませんか。

※講座受講中にお子さんの保育を希望される方は、
申込時にお知らせください。
保育の対象は2歳から就学前のお子さんで、1人200円が必要です。

日時：令和7年7月16日（水）
9：00～12：00

場所：袖ヶ浦市民会館 中ホール他

対象：保育ボランティアに
興味がある方20名

（子育て経験や資格の有無、
性別は問いません）

参加費：無料

持ち物：筆記用具、動きやすい服装

※ 切：令和7年7月9日（水）

申し込みは電話
または二次元コードから↓

袖ヶ浦市教育委員会
生涯学習課

TEL：0438-62-3743



クローバー Clover

病院ホームページに
アクセス出来ます。



編集・発行
君津中央病院
☎0438(36)1071

2025 Jun
vol.77

理念

私たちは、良質で安全な医療を提供し、
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

基本方針

- 1 患者さんの権利と尊厳を尊重し、患者さん中心の医療を推進します。
- 2 患者さんに信頼される質の高い医療を提供します。
- 3 地域の中核病院として、高度専門医療、救急医療、小児・周産期医療、災害医療および感染症医療を提供します。
- 4 地域連携を推進し、必要とされる医療を提供することで、地域・社会へ貢献します。
- 5 職員の教育・研修を推進するとともに、次世代を担う医療人を育成します。
- 6 チーム医療を推進し、経営の健全化と明るく働きがいのある職場をめざします。

目次

新年度を迎え、地域の皆さまへ向けて	1・2
医務局 緩和医療科	3
看護局 7階東病棟	4
医療技術局 薬剤科	5
患者総合支援センター	6
大佐和分院 / 君津中央病院附属看護学校	7



認定第 JC295-5 号
一般病院 2
(3rdG:Ver.3.0)
2024.8.23 ~
2029.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるよう、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です

君津中央病院 附属看護学校 看護学生募集中

詳細は下記QRコードから
ご覧いただけます。



大佐和分院からのお知らせ

予防接種

大佐和分院では各種予防接種（小児・高齢者肺炎球菌、帯状疱疹、HPV など）を実施しております。予約が必要なワクチンもありますので、希望される方は事前にお問い合わせください。

人間ドック

予約にて承ります。お問い合わせください。当院では、上部消化管内視鏡（胃カメラ）は、経鼻内視鏡を使用しています。

国保・後期・社保の特定健康診査（特定健診）

木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市にお住まいの方の国保・後期特定健診、社会保険加入者ご家族の社保特定健診も承ります。受診券がお手元に届きましたら、ぜひご相談ください。

外来担当医表

最新の担当医表は、大佐和分院窓口または右記の QR コードからご確認いただけます。

お問合せ先 電話番号：0439-65-1251



看護学生募集 地域医療の未来を担う

君津中央病院附属看護学校



お気軽にお問い合わせください TEL：0438-53-8767
e-mail：kimikan@mqb.biglobe.ne.jp

Information

採用 情報

現在、君津中央病院では一緒に働く仲間を募集中です。
採用中の職種等、詳細は当院ホームページよりご確認ください。
【お問合せ先】
事務局人事課採用担当 TEL 0438-36-1071（代）

採用情報は
こちら→





看護局長 北 清美

看護局 理念

私たちはチーム医療において
質の高い看護を提供します
～心のこもったケアを～

看護局は800名を超える看護職員で構成されています。院内の最大組織ですが、結束力と行動力に溢れた組織だと自負しています。

私たち看護職員の最大の役割は、「診療の補助」と「療養上の世話」を通して、医療ニーズと生活上のニーズの両方を理解し、応えることで成果をあげることです。つまり、医療の視点だけではなく、生活の視点を持って「人」を看ることが私たちの使命です。そのために、看護職員それぞれのライフイベントや価値観に応じて、仕事と生活の調和を図りながら、専門性を発揮した看護が提供できるように自律的に学べる組織を目指しています。また、それぞれが看護職としての将来ビジョンを描き、その実現に向けて支え合える看護局でありたいと思っています。

これからも看護局理念「心のこもったケアを」を大切に、地域の皆さまに安心安全な医療、療養の提供ができるように取り組んで参ります。



継続性のある事務と組織の担保

木更津市にある本院と附属看護学校、そして富津市にある分院は、木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市の4市が、各々で市立病院などの事務（＝仕事）を行うよりも一つの団体（＝君津中央病院企業団）で共同処理する方がはるかに効率良くできるものとして設置しました。それゆえ、4市の市民サービスの一部であるこれら3事業を維持・継続していくことこそが、私たちの最大の使命になります。

事務局は、3事業を支える事務方として人材確保・育成を重ね、働きがいのある職場文化を醸成しつつ継続性のある事務と組織を担保し、ひいては、地域の皆さまに安心いただけるよう3事業の維持・継続に尽力してまいります。



事務局長 小柳 洋嗣

新年度を迎え、地域の皆さまへ向けて

いよいよ2025年度がスタートしました。
当院を担う各局の代表者からのメッセージを地域の皆さまへお届けします。



医務局長 駒 嘉宏

新年度を迎え、地域の皆さまに向けて。

令和6年4月から「医師の働き方改革」がスタートしました。

スタートする直前まで人材の確保や勤務形態の効率化など様々な準備が必要でしたが、それに伴い地域の皆さまには多くのご不自由をおかけしたと存じます。

またこの余波は地域の二次救急などを担ってくださっている医療施設にもおよび、当地域の救急診療体制にも少なからずの影響を及ぼしています。

このように大きな変化の中で迎えた新年度は、昨年度の経験を生かしつつ、新たな人材確保を得たことで、地域の皆さまに心からの信頼と安心をお届け出来るような充実した診療体制の構築に寄与出来ればと思います。



共育で患者さんも職員も笑顔に！

医療技術局は薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、栄養士、調理師、調理員、臨床工学技士、歯科衛生士、視能訓練士、治験コーディネーター、公認心理師、医療助手の総勢289名で構成されています。高度医療に対応する多くの医療機器を管理し、患者さんが安心して治療に臨めるように日々技術の研鑽を積んでいます。

病院ホームページには養成校学生と有資格者向けの見学申込フォームがありますので、共に地域医療を支える仲間の応募をお待ちしています。8月には高校生見学会を開催し、地域に開かれた当院で、職員が笑顔で働けるように人材育成にも力を入れています。



医療技術局長 児玉 美香



外科医から緩和ケア医になって望むこと

私が医師になったのは1980年です。ついこの間のように思い出しますが、44年前のことです。超音波検査やCTがやっと使えるようになってきた頃で、抗菌薬や抗がん剤も限られたものしかありませんでした。手術は「Great Surgeon, Great Incision」と言われ、大きく切る医者が優秀な外科医と評価されていました。それから44年が経過する中で医学は急速に発展し、検査方法、手術や薬剤などの治療方法が開発されました。神頼みだった医療はエビデンスに基づく医学となり、患者さん中心の医療は病気を中心とした医療に代わってきました。そんな中で2011年、手術にしか興味が無かった私は反省を込めて緩和ケア医に転身しました。

「空はいつでも青い」という言葉があります。黒い雲がやってきて雨が降ったとしても、何れ黒い雲は去っていきます。私は、患者さんを診る時、この黒い雲ばかり診ていませんか？その向こうに何時も変わらない青空があることを忘れていませんか？患者さんを一人の人間として診ることを忘れて、病気だけをみていませんか？そして、「あの人は〇〇だ」とレッテル張りをしていませんか？病気だけを診るのではなく、目の前にいる患者さんを色々な思いを持った一人の人間としてみる事が大切だと思います。

私は、緩和ケアを始めた頃、患者さんの病態を評価して薬剤によって苦痛を緩和し、穏やかな最後を迎えられるように支援することが緩和ケアの本質だと思っていました。勿論、これも重要なことなのですが、緩和ケアの本質ではありません。患者さんと同じ目線でお話を聴き、患者さんの意向を尊重し、患者さんが主体的に自律できるよう支援してい

くことが尊厳を大切にする緩和ケアの本質だと思います。

命に係わるような病気で苦しむ人の中では希望と恐怖が渦巻いています。この相反する二つの感情は死の瞬間までグルグル回っています。そんな時に医療者が希望を取り上げたらどうなりますか、患者さんに残るのは恐怖と諦めです。短くてもいい、お話を聴く時間を持つことが医療者のできる患者さんへの最大の贈り物です（ナラティブアプローチ）。そこに医療者の意見は必要ありません。ただ

聴くことが患者さんに安らぎを与える力強いケアとなります。

このような考え（ホスピスマインド）は、緩和ケアだけでなく医療全体に広がるべきだと思います。病院全体、さらに地域全体に浸透していくことが私の望みです。

（緩和医療科 久保 周）



看護局 7階東病棟

病棟のご紹介

7階東病棟は、整形外科、皮膚科、糖尿病・内分泌・代謝内科、形成外科で構成される49床の混合病棟です。病棟スタッフは、看護師33名・看護補助者2名・夜間専従看護助手2名・クラーク（事務員）1名です。

4科の予定入院に加えて、臨時入院や緊急手術も多く受け入れています。予期せぬけがや疾患などで活動に制限が生じ不安や苦痛を抱える患者さん、慢性的な経過をたどり退院後も治療を継続していく必要がある患者さんに、寄り添った看護や療養支援が行えるよう日々取り組んでおります。

疾患によっては長期の入院が必要となる患者さんや、病気やけがをきっかけに直接自宅に帰ることが困難となる場合もあります。そのような患者さんの状況を把握し、少しでも安心して今後の生活を送るためにはどうすれば良いか検討するために、毎週多職種（医師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーションスタッフ、入退院



支援看護師、病棟看護師）合同でカンファレンスを実施して、退院後の生活を支援できるよう取り組んでいます。

今後も安心して入院生活が送れるよう、助けができるように、スタッフ一同研鑽に努めて参ります。



カンファレンスの様子です。毎朝患者さんの状況について共有し意見交換を行っています。



糖尿病教室やフットケア外来での活動も行っています。



病棟内の一室にリハビリを実施できる場所があります。医師の指示のもとリハビリスタッフと一緒に早期離床に取り組んでいます。

薬剤科の紹介

薬剤科は、薬剤師29名・助手5名と、この規模の病院としては少なく、この限られた人数で皆さまに安心安全な医療を提供するために、医師や看護師、その他多くの職種の方々と協力して、薬剤の適正使用の推進に努めています。

入院される患者さんへ

入院の際は、普段使われている薬を忘れずにお持ちください。

お薬の種類によっては、入院中の治療に影響が出ないよう、一時的に中止もしくは変更させていただく場合があります。お薬の継続・中止・再開は病院で判断させていただきます。自己判断で服用を続けていると、治療に影響を及ぼすことがありますので、必ず確認をお願いします。



なぜ薬が不足しているの？

2020年12月に発覚した後発医薬品（ジェネリック医薬品）メーカーの品質不正問題をきっかけに製造工程の不備が次々と明るみになり、多くの企業が行政処分を受けた影響で、今でも医薬品の供給が不安定になっています。さらに新型コロナウイルスやインフルエンザの流行による需要増加、薬価の引き下げに反する原材料の高騰、海外からの原料供給トラブルに加えて円安の影響などが重なり、現在でも抗生剤や咳止めなど多くの医薬品が不足しています。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）を利用しましょう！

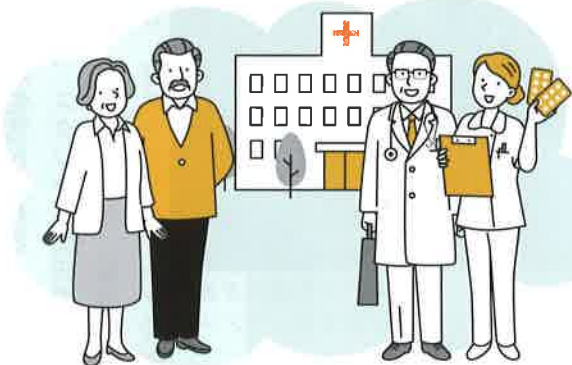
令和6年10月から、後発医薬品（ジェネリック医薬品）があるお薬で先発医薬品の処方希望される場合は、追加料金がかかるようになります。この追加料金は、先発医薬品と後発医薬品の薬価差の4分の1相当に消費税を加えた金額になります。後発医薬品は、先発医薬品と有効成分が同じで、同じように使っていただけるお薬です。ただし、処方医が治療上、先発医薬品の使用が望ましいと判断した場合などは、この対象となりません。医療費の増加が大きな課題となっており、将来にわたり国民皆保険制度を守っていくためにも、皆様のご理解ご協力をお願いすると

ともに、この機会に、後発医薬品の積極的な利用をお願いいたします。

お薬手帳は1冊にしましょう

医療機関や調剤薬局では、お薬手帳を見せて、使われている薬を全て伝えてください。異なる医療機関で、一緒に飲んではいけないうお薬をもらっているかもしれません。逆に類似した薬をもらっている可能性もあり、その場合はお薬を減らすことができます。余計な薬剤の使用は、金銭の負担となるだけでなく、思いがけない副作用を生じることもあります。

（薬剤科 大木健史、末政忠巳）



患者総合支援センターからのお知らせ

vol.4

●患者総合支援センターの入退院支援看護師を紹介します！

患者総合支援センターでは入退院をサポートする入退院支援看護師が勤務しています。入院前から退院後を見据え多職種と連携しながら支援しています。

入院が決まったら、入院前支援看護師が患者さんの生活状況をお伺いして、病棟へ連携します。入院後は病棟担当の退院支援看護師が患者さんやご家族とお話をして、医療ソーシャルワーカーとともに、医師や病棟看護師とも協力し、相談をしながら退院の支援をしています。

また、新生児科病棟では、適切な（小児患者の在宅移行に関する）研修を受けた5名が、令和5年度より入退院支援看護師として勤務しています。新生児科に入院したお子さんとそのご家族が安心して退院後の生活が送れるよう、入院時より病棟受け持ち看護師とともに、ご家族に寄り添いながら支援しています。さらに、院内・地域とも連携を取り退院後も継続して支援できる体制を整えています。当院は、全入院患者の約半数が緊急入院で



あり、それまでの生活に急な変化が生じる方が多く入院されます。様々な状況においても、患者さんやご家族が少しでも安心して退院後の生活ができるよう地域の連携機関とも協力し、支援しております。

（患者総合支援センター 松村由美子）

がんサロン開催のお知らせ

がん患者さんやご家族が病気の悩みや体験を語り合うサロンを開催しています。他の患者さんはどうしているんだろうということがたくさんあると思います。多岐にわたる様々な体験や取り組みについて、先に進む患者さんから知ることが、当事者同士だからこそ得られる深い共感、気持ちの救いになることがあります。がんサロンは、療養生活上の困難に対処するための、情報交換の場でもあります。繋がることで、生きる力になることもありますので、お気軽にお越しください。

日時	令和7年6月20日（金）、7月18日（金）、8月15日（金） 毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで
場所	4階 講堂1 ※予約は必要ありません。費用無料です。
お問合せ先	電話 0438-36-1071(代) 担当：がん相談支援センター 保坂 まで



回 覧

「自治会に関するアンケート」

ご協力のお願い

《調査目的》

本アンケートは、自治会への加入・未加入を問わず、地域の皆様のご意見を伺い、今後の自治会運営や地域活動の改善に役立てることを目的に実施しています。

「自治会に加入してよかったこと」や「もっとこんな活動があればいいのに」など、ご意見やご提案をお聞かせください。

※ 広報そでがうら6月号や市ホームページ、市公式LINE、Xでお知らせしているものと同じアンケートです。ご回答がまだの方はご協力をお願いします。

《調査対象》

市内在住で18歳以上の方



《回答時間》

3分程度

URL <https://logoform.jp/form/tSXa/1038618>

《回答方法》

スマートフォンなどにより、上記 QR コードから回答してください。

※ 電子回答が難しい方は、市民協働推進課及び各交流センターに設置しているアンケート調査票をご利用ください。

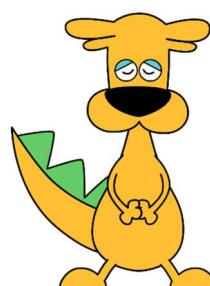
《回答締切》

7月4日（金）

《問合せ先》

袖ヶ浦市役所 市民協働推進課

TEL 0438-62-3102



ご協力を
お願いいたします

自治会に関するアンケート 調査票

【参考】

この調査票は、市民協働推進課及び各交流センターに設置しています。
電子回答が難しい方は、お手数ですが、同窓口で調査票をお受け取りの上、ご回答をお願いします。

※電子で回答ができない場合のみご使用ください。

Q1【年齢】 ☐20代以下 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代

Q2【性別（任意）】☐男性 ☐女性

Q3【居住地域】 ☐昭和地区 ☐長浦地区 ☐根形地区 ☐平岡地区 ☐中川・富岡地区
→ 大字を記入してください（ ）

Q4【居住形態】 ☐持ち家（戸建て） ☐持ち家（分譲マンション） ☐賃貸マンション・アパート
☐賃貸戸建て住宅 ☐市営住宅・県営住宅 ☐社宅・企業の寮
☐その他（自由記述）（ ）

Q5【世帯主区分】 ☐世帯主 ☐世帯主以外

Q6【世帯構成】 ☐単身世帯 ☐夫婦のみ世帯 ☐子育て世帯（中学生以下の子どもがいる）
☐子育て世帯（中学生以下の子どもがいない） ☐3世代同居世帯
☐その他（自由記述）（ ）

Q7【居住年数】 ☐1年未満 ☐1年以上～5年未満 ☐5年以上～10年未満
☐10年以上～20年未満 ☐20年以上

Q8【就労状況】 ☐会社などにフルタイムで勤務している ☐自営業・フリーランス
☐パート・アルバイトなどで勤務している（勤務時間は不規則または短時間）
☐家事・育児専業 ☐現在は働いていない（定年退職、求職中、休職中）
☐その他（自由記述）（ ）

Q9【現在、自治会に加入していますか？】 ☐はい ☐いいえ ☐以前加入していた

「はい」と回答した方は「Q10」へ

「いいえ」又は「以前加入していた」と回答した方は「Q18」へ

Q10【これまで自治会において、区長や会計、班長などの役職経験はありますか？】 ☐ある ☐ない

Q11【自治会に加入したきっかけは何ですか？】（1つ選択）

- | | |
|---|---|
| ☐ 引越越し時に勧誘された（案内された） | ☐ 家族や親のすすめで自然に加入した |
| ☐ 加入が地域で「当然」とされていたから | ☐ 回覧板や地域の情報を得たかったから |
| ☐ 地域のルールや決まりを知るため | ☐ ご近所づきあいを大切にしたいから |
| ☐ 地域のイベントや行事に参加したかったから | ☐ 災害・防犯対策に備えたかったから |
| ☐ 子どもや高齢者の見守りのために必要だと感じた | ☐ 問題や課題を相談・解決したかったから |
| ☐ 自治会の活動内容に共感したから | |
| ☐ その他（自由記述）（ ） | |

Q12【自治会の活動に参加していますか？】

- ☐毎回参加している ☐年3回以上参加している ☐年1回程度参加している ☐全く参加していない

「全く参加していない」と回答した方は「Q14」へ

Q13【どのような活動に参加したことがありますか？】（複数選択可）

- | | |
|--|---|
| ☐ 防災訓練 | ☐ 災害時の備蓄管理や物資配布 |
| ☐ 防犯パトロール | ☐ 交通安全の啓発活動 |
| ☐ 清掃活動（ごみ拾い、草刈りなど） | ☐ 回覧板の配布・掲示板の管理 |
| ☐ 地域のお祭りやイベントの運営・参加 | ☐ 子ども会や高齢者向けの行事サポート |
| ☐ 自治会の会議や総会 | ☐ 役員・委員としての活動（班長・会計など） |
| ☐ その他（自由記述）（ ） | |

Q14【自治会に加入していてよかったと感じることはありますか？】（3 つまで選択可）

- ☐ 地域の人とつながりができた
☐ 地域情報（回覧板やイベント）を得られる
☐ 災害時や緊急時に助け合える安心感がある
☐ 自分の意見や要望を地域に反映しやすい
☐ その他（自由記述）（
- ☐ 地域行事（お祭り、清掃活動など）を楽しめる
☐ 子どもや高齢者の見守り活動が安心してつながっている
☐ 防犯や防災などの取組に参加できる
☐ 特にない

)

Q15【自治会に加入していて負担だと感じる時はどんな時ですか？】（3 つまで選択可）

- ☐ 回覧板の確認や配布が面倒
☐ 定期的な清掃や草取りなどの作業が大変
☐ 行事やイベントへの参加を求められるとき
☐ 自治会費の支払いが負担に感じるとき
☐ 会議や集まりが多い
☐ 役員や当番などの役割が回ってくる時
☐ 無理に役職を引き受けさせられたとき
☐ 地区自治連合会や自治連絡協議会などの役職を任されるとき
☐ 人間関係が煩わしい
☐ 情報共有が不十分で何をしているのかよく分からないとき
☐ 自分の生活や価値観に合っていないと感じるとき
☐ 特に負担を感じない
☐ その他（自由記述）（

)

「特に負担を感じない」と回答した方は「017」へ

Q16【自治会に負担を感じることがあっても、加入を続けている理由はありますか？】（最も近いものを1つ選択）

- ☐地域のつながりを大切にしたいから
☐子どもや家族のためになると思うから
☐地域の情報（回覧板・掲示板など）を得るために必要だから
☐近所との関係性を保つため、仕方なく加入している
☐その他（自由記述）（ ）
- ☐防災・防犯の面で必要だと感じているから
☐災害時や緊急時に助け合える安心感があるから
☐加入するのが地域の「当たり前」だと思っているから

)

Q17【自治会が担うべき役割は何だと思いますか？】（3つまで選択可）

- ☐ 地域の防災・防犯活動
 ☐ 高齢者や子どもの見守り
- ☐ ごみ出しや清掃など環境美化の活動
 ☐ 地域課題（交通・治安・孤立、空き家など）の改善活動
- ☐ 行政とのパイプ役（住民の声を届ける）
 ☐ 回覧板や掲示板などでの地域情報の共有
- ☐ 地域イベントの企画・運営（お祭り、運動会など）
 ☐ 住民同士の交流やつながりづくり
- ☐ 特にない
- ☐ その他（自由記述）（ ）

)

自治会に加入している方は「021」へ

Q18【自治会に加入していない（以前加入していたが退会した）のはどんな理由ですか？】（最も近いものを1つ選択）

- ☐ 仕事や育児で忙しく、参加の時間がとれない
☐ 地域に住んで日が浅い（短期滞在の予定）
☐ 入りたくても方法がわからなかった
☐ 活動内容がよくわからない
☐ 必要性を感じない
☐ 誘われたことがない、勧誘されなかった
☐ 費用がかかる（会費が負担）
☐ 面倒くさそう
☐ ご近所付き合いが煩わしい
☐ 若い人が少なくて入りづらい
☐ トラブルに巻き込まれそうで不安
☐ 自治会に対して良いイメージがない
☐ 以前に嫌な経験があった（例：無理な役を押し付けられた）
☐ その他（自由記述）（

)

Q19【自治会は地域でどのような役割を果たしていると思いますか？】（3 つまで選択可）

- ☐ 地域の安全（防犯・防災）を守る役割
 - ☐ ごみ出しや清掃など、環境美化の役割
 - ☐ 高齢者や子どもなど、地域の見守りをする役割
 - ☐ 地域トラブルや課題の調整役
 - ☐ あまり役割を果たしていないと思う
 - ☐ その他（自由記述）（
 - ☐ 災害時の助け合い・支援の役割
 - ☐ 住民同士の交流やつながりをつくる役割
 - ☐ 地域の行事やイベントを企画・実施する役割
 - ☐ 行政と地域をつなぐパイプ役
 - ☐ よくわからない

)

Q20【自治会は前問のような役割を果たしています。こうした役割が地域で果たされなくなった場合、どんな影響があると思いますか？】（自由記述）
（ ）

Q21【どのような自治会であれば加入（参加）したい、加入（参加）を続けたいと思いますか？】（3 つまで選択可）

- ☐ 参加方法が柔軟で、自分のペースで参加できる
- ☐ オンラインでも参加や情報共有ができる
- ☐ 会長などの役職の負担が軽く、無理に引き受けることがない
- ☐ 活動の内容や目的が明確でわかりやすい
- ☐ 会費の使途が透明で納得ができる
- ☐ 地域課題（防犯・防災・環境美化など）に積極的に取り組んでいる
- ☐ 最低限（ごみ出しや清掃、防災、回覧板）の活動をしている
- ☐ 自由参加型のイベントや交流の場がある
- ☐ 地域住民の交流やつながりが豊かである
- ☐ 新しい住民や若い世代を歓迎している
- ☐ 自由に発言ができて、前向きな議論ができる
- ☐ 特に思いつかない
- ☐ どのような自治会でも加入（参加）したくない
- ☐ その他（自由記述）（ ）

Q22【自治会に関心を持ち、加入（参加）してみようと思う「きっかけ」や「動機」には何が考えられますか？】（3 つまで選択可）

- ☐ 災害時や防犯面での安心を得たいと思ったとき
- ☐ 地域課題（ごみ問題、騒音、交通など）を解決したいと感じたとき
- ☐ 子どもや高齢者の見守りなどで地域の支え合いに関心を持ったとき
- ☐ 引っ越してきたばかりで地域の情報を知りたいと感じたとき
- ☐ 加入が簡単で、手続きや説明が丁寧だったとき
- ☐ 近所付き合いや地域のつながりを持ちたいと思ったとき
- ☐ 知り合いや友人が加入していて誘われたとき
- ☐ 家族や知人に薦められたとき
- ☐ 自分の意見を地域に届けたい、反映させたいと思ったとき
- ☐ イベントや行事に参加して楽しかった、興味を持ったとき
- ☐ 自治会の活動内容に共感したとき
- ☐ 特にない
- ☐ その他（自由記述）（ ）

Q23【自治会に関するご意見・ご要望・ご提案などがあればご自由にお書きください】

令和7年度

介護予防教室(6月～10月)

**介護予防に関する知識の普及・啓発を行い、多くの方が
いつまでも健やかに過ごせるように介護予防の充実を図ります。**

☆健康長寿のために必要な、身体活動、食・口腔機能に関する教室を開催します。

☆地域の方との交流を通して、社会参加の機会にしてみたいはいかがでしょうか。

対 象 : 市内在住の成人の方（おおむね65歳以上）
時 間 : 午後2時00分～3時30分（受付：1時45分～）
日 程・会 場 : 以下のとおり。各会場ごとに定員あり。

※事前に希望の日程を電話でお申し込みください。



状況により、教室が中止、変更になる場合があります。
参加を検討されている方は、必ず事前にお問い合わせください。

日付	場所	内容
6月12日（木）	根形交流センター 講義・研修室	認知症予防と栄養管理
6月18日（水）	平岡交流センター 2階研修室	頭の元気トレーニング
7月15日（火）	長浦交流センター 2階研修室	「介護保険制度」を知る
7月30日（水）	市民会館 中ホール	頭の元気トレーニング
9月18日（木）	長浦交流センター 2階研修室	頭の元気トレーニング
9月30日（火）	市民会館 中ホール	腰痛予防体操
10月10日（金）	平川交流センター 多目的室	おくちの健康セミナー
10月23日（木）	市民会館 中ホール	サルコペニア予防講座

※各教室の持ち物については、ホームページにて確認をお願いします。



令和7年度

介護予防教室(11月~2月)

※事前に希望の日程を電話でお申し込みください。

状況により、教室が中止、変更になる場合があります。
参加を検討されている方は、必ず事前にお問い合わせください。

日付	場所	内容
11月 6日(木)	長浦交流センター 2階研修室	サルコペニア予防講座
11月21日(金)	市民会館 中ホール	いきいき血管講座
11月28日(金)	根形交流センター 講義・研修室	頭の元気トレーニング
12月 3日(水)	平岡交流センター 2階研修室	尿失禁予防講座
12月17日(水)	長浦交流センター 2階研修室	骨粗しょう症について
1月22日(木)	長浦交流センター 2階研修室	口腔に関する講話
2月12日(木)	平川交流センター 多目的室 ※10時~11時30分	頭の元気トレーニング
2月17日(火)	根形交流センター 講義・研修室	運動機能向上教室



市公式ホームページ



各教室の持ち物については、
ホームページにて確認をお願いします。

❀申込・問合せ❀

袖ヶ浦市役所 高齢者支援課

☎0438-62-3225

「みんなで参加！地域の子育て」

子育ての援助者 大募集中！

そでがうらこども館での預かりの様子



提供会員 S さん

「実際に援助するまでは不安もありました。たくさんの遊びをしてすごしました。」

あなたも提供会員になりませんか？ 援助は 1 時間程度が多いです。

ご興味のある方は、Tel 0438 - 64 - 3115 まで！

送迎援助の様子
(徒歩や自家用車)

「定年後にファミサポに登録し、援助活動を始めました。良いと思うのは生活のメリハリができること。毎年同じお子さんの援助をしているので、子どもの成長を見られるのも嬉しい。同じ境遇の方にぜひ、おすすめしたいです。」

提供会員 T さん



アクセスはこちらから！



袖ヶ浦市ファミリーサポートセンターは、子育ての援助をしていただける方（提供会員）と、子育ての援助を受けたい方（利用会員）が会員となり、地域で子育てを支援する有償の相互援助活動です。

利用会員



市内在住または在勤、
里帰り出産等で市内
に住んでいる方で、生
後6ヶ月から小学校
6年生までのお子さ
んがいる方

提供会員

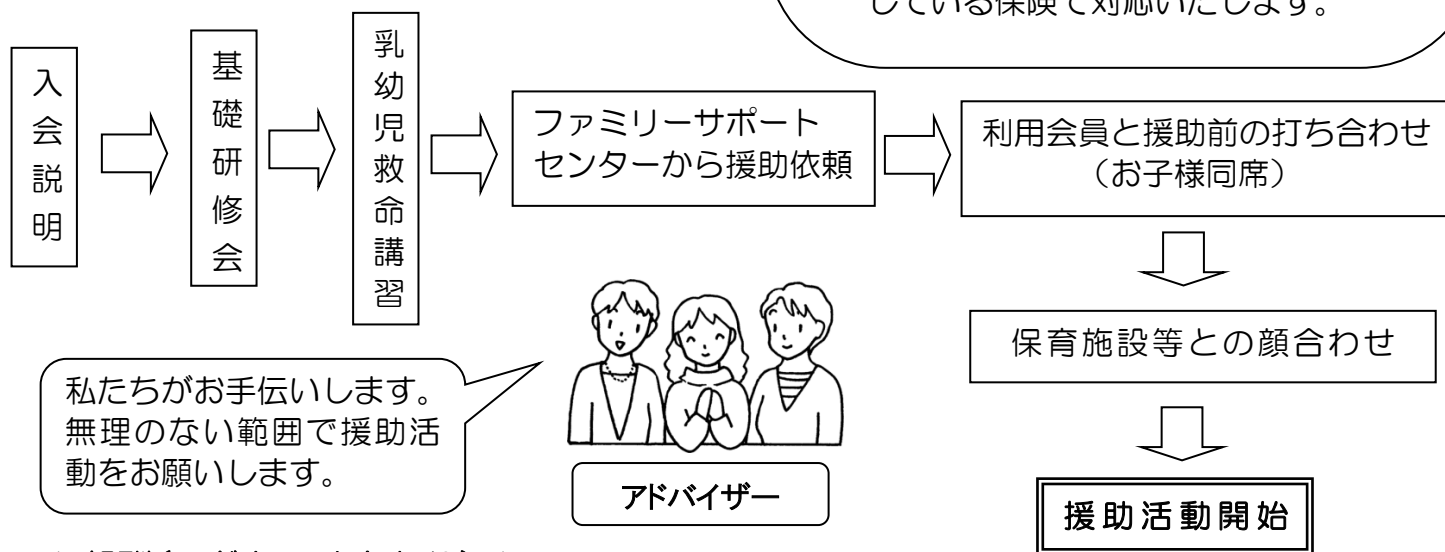


市内在住の満20歳以上
の方で、心身ともに健康で援助
活動ができる方。（資格、男
女を問いません。）

援助のお約束

- ◎ 病気の症状があるお子さんのお預かり
はできません。
- ◎ お子さんの宿泊や入浴・午後10時以降
の援助・及び家事の援助はできません。
- ◎ お子さんは、大人から大人への引き渡し
となります。
援助活動は、提供会員一人につきお子
さん一人で行います。
- ◎ お子さんを預かる場所は、提供会員の自
宅やそでがうらこども館等、お子さん
の安全が確保できる場所とします。
- ◎ 活動中の事故やけがは、センターが加入
している保険で対応いたします。

< 提供会員の援助開始までの手続き >



< 報酬(こども1人あたり) >

曜日・時間帯	金額
平日の午前6時～午後8時	1時間：700円
平日の午後8時～午後10時	1時間：900円
土・日・祝日・年末年始	

○ご不明点等ございましたらお問い合わせください！

袖ヶ浦市ファミリーサポートセンター

袖ヶ浦市神納1136-3（そでがうらこども館内）



TEL・FAX 0438 (64) 3115

